

いのちの大切さを学ぶ授業

鳥取市立江山中学校

江山中学校では、保健体育の学習をベースに、助産師さん2名をゲストティーチャーとして迎え、人権教育や道徳教育のねらいも意識した授業「いのちの誕生～生まれてきてくれてありがとう～」を毎年行っています。多くの学校でも、性教育講演会を実施されていますが、自校の実態に即した特色ある取組を紹介します。



真剣な表情で聞き入る生徒達

実態から深める事前協議

- ◎助産師さんを学校に迎えて、学年主任、学級担任、保健体育主任、養護助教諭で授業の共通理解を図る
- ・保健の授業で扱う内容と当日の内容を確認（ねらいを明確化）する
- ・生徒の実態について情報を共有する
- ・配慮が必要な事項や使用用語等を確認する

心に響く授業づくり

- ◎生徒の心に伝わるように教材を工夫する
- ・産道の着ぐるみモデルを活用する
- ・紙に針で穴を開け、卵の大きさを確認する
- ・生徒の心音をスピーカーを通して聞かせる
- ・身長と体重が実際と似た新生児の人形を、全生徒が抱く経験をする
- ・新生児が実際に生まれる瞬間の心音変化を感じさせる

保護者もともに学ぶ

- ◎保護者にも案内し、参観を呼びかけている
- ・保護者に、我が子の成長を振り返る機会としていただく
- ◎学校通信やその他の通信、ホームページ等でも取り上げ、広く浸透させる

<保護者の感想>

元気で生まれてきてくれて、元気に成長してくれたなあと、改めて“ありがとう”と思いました。これから先も、自分の命を大切にして、家族や周りの人の思いを大事にして生きていってほしいです。

<生徒の感想>

自分を産んでくれた父母に感謝の気持ちを伝えようという気持ちになりました。自分の記憶はないけど、がんばりや感動の中で生まれてきたんだと分かりました。これからは、感謝の気持ちを忘れず、人に優しくできる人になりたいです。

体重を聞いたら軽いと思ったけど、実際に抱いてみると、とても重くてびっくり！！

赤ちゃんの重さを感じよう

実際に心臓の音を聞いてみた。驚いたし、生きているんだな…と感動した。

「生まれてきたことが100点満点」助産師さんのまよめ言葉です。単に用語や仕組みを説明するだけでなく、「いのち」と「自分」と「自分以外の人」の大切さが伝わる授業になりました。子どもたちが、生きることの尊さを実感できるような取組が広がることを願っています。

心音を聞いてみよう

